

# ニュースレター

## DSD/JICA PROJECT ON DISABILITY

Department of Social Development (DSD) / Japan International Cooperation Agency (JICA)  
Project for the Promotion of Empowerment of Persons with Disabilities and Disability Mainstreaming



2016年5月10日に専門家2名が南アフリカに赴任し、「障害者のエンパワメントと障害主流化促進プロジェクト」を開始しました。2016年7月21日には本プロジェクトの第一回合同調整委員会を開催しました。第二号ニュースレターでは、合同調整委員会の目的および第一回合同委員会の内容について報告します。

### 目次

合同調整委員会の目的	1
第一回合同調整委員会の報告	1-2
今後の予定	2

## 合同調整委員会の目的

合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee: JCC) とは、プロジェクトの最高意思決定機関で、相手国政府の行政官、JICA 関係者、プロジェクトの関係者が集まり、プロジェクトの年間計画や活動の進捗報告、問題点等の協議を行い、正式な承認を得る重要な会議です。

本プロジェクトでは4年間のプロジェクト期間に計6回の合同調整委員会を予定しています。第一回の合同調整委員会は、①合同調整委員会メンバーの紹介、②プロジェクトの概要説明、③プロジェクトの運営管理ツールである Project Design Matrix (PDM) および Plan of Operation (PO) の確認および修正、④年間活動計画の承認、を目的に2016年7月21日にプレトリアの社会開発省本省会議室で開催されました。



合同調整委員会の様子

## 第一回合同調整委員会の報告

第一回の合同調整委員会には、カウンターパートである南アフリカ社会開発省障害者権利部の行政官、プロジェクトサイトのあるリンポポ州およびフリーステート州の社会開発省行政官、JICA 南アフリカ事務所だけでなく、社会開発省の子どもや国際関係など他部署の行政官、南アフリカを代表する障害者団体 Disabled People South Africa (DPSA)、South African Disability Alliance (SADA) の代表など計25名が参加しました。中には、車で5時間かけ前日にプレトリア

入りし、会議に出席した障害者もいました。本プロジェクトは「障害者が中心となり活動していく」ことを理念としており、プロジェクトの意思決定機関である合同調整委員会に多くの障害者が参加していることはその表れといえます。

会議冒頭、プロジェクト・ダイレクター且つ障害者権利部代表である Mzolisi Toni 氏が参加者に謝意を示し、「参加した人々の声がきちんと反映されるプロジェクトにしていく」と述べました。

フリーステート州社会開発省の代表 Mokone Nthongoa 氏は「プロジェクトのサイトに選定され、プロジェクトに参加できることを光栄に思う。私たちの州はプロジェクトの成功のための一翼を担い、すべてのレベルでの参加を約束する。サイトのあるタボ・モツァニャナ郡の人口の10%が障害者であるという現実に対し、プロジェクトは障害者の生活を変えるツールであると考えている」と述べ、プロジェクトへの期待の高さを示しました。

次に、本プロジェクト鷺谷チーフアドバイザーが、プロジェクトの目的や活動内容、活動計画などを説明しました。参加者からは多くの質問やコメントが寄せられました。特に、プロジェクトのインプットである短期専門家の派遣に関しては、日本や第三国から人材を送ることを前提とするのではなく、これまで社会開発省と JICA が実施した研修の南アフリカからの参加者などを活用し、得られた経験や知識を広げていくことでプロジェクトの成果が持続されるよう求める声が上がりました。これらの意見は PDM に反映され、修正された PDM、PO およびプロジェクトの年間活動計画が承認されました。

JICA 南アフリカ事務所木野本所長は「世界には障害者は10億人がいるといわれ、その数は世界人口の7人に一人である。ご存知のように、多くの障害者が貧困の中で生活しており、彼らが生活を向上させる

能力を得る機会も不十分である。障害の主流化と障害者の開発プロセスへの参加は、持続可能な開発目標のゴールである「誰一人取り残さない」の達成にきわめて重要であり、JICA は障害者のエンパワメントと障害主流化を促進する本プロジェクトの成果に期待している。JICA は本プロジェクトを通じ、南アフリカおよび周辺国の取り組みをサポートしたい」と述べ、会議を締めくくりました。

次の合同調整委員会は2017年3月を予定しており、プロジェクトが実施するベースライン調査の結果や活動の進捗報告などの発表が予定されています。



障害者のニーズや障害者が直面する課題について話し合うプロジェクトサイト関係者

## 今後の予定

プロジェクトは、現在ベースライン調査を行っています。質問表、インタビュー、フォーカス・グループ・ディスカッション、家庭訪問などを通じ、プロジェクトサイトの障害者の生活やニーズが少しずつ明らかになってきています。

本プロジェクトホームページを通じて、プロジェクトの進捗状況などをご報告させていただきます。どうぞご期待ください。

Department of Social Development (DSD):  
134 Pretorius Street, HSRC Building, Pretoria, 0001,  
South Africa

Editors:

Daisuke Sagiya: [DaisukeS@dsd.gov.za](mailto:DaisukeS@dsd.gov.za)

Ren Kamioka: [RenK@dsd.gov.za](mailto:RenK@dsd.gov.za)



プロジェクトサイトの関係者にプロジェクトの概要や活動計画の説明をする鷺谷専門家